

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024 年 12 月 1 日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
胃癌	■進行・再発 □術前補充療法 □術後補助療法	ゾルベツキシマブ + mFOLFOX6療法	14日間	規定無し	中（高）

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	パロノセトロン デキサート ボラミン アロカリス 生理食塩液	0.75mg 9.9mg 5mg 235mg 100mL	点滴静注	30分	↓													
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
③	ピロイ 生理食塩液 大塚蒸留水	初回：800mg/㎡ 2回目～：400mg/㎡ 1000mL 溶解用	点滴静注	2時間以上 （院内規定あり）	↓													
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
⑤※	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	85mg/㎡ 250mL	点滴静注	120分	↓													
⑥※	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/㎡ 250mL	点滴静注	120分	↓													
⑦	フルオロウラシル（5FU） 生理食塩液	400mg/㎡ 50mL	点滴静注	15分	↓													
⑧	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓													
⑨	フルオロウラシル（5FU） 生理食塩液	2400mg/㎡ 適量	点滴静注	46時間	→													
※	⑤と⑥は同時に投与																	

《注意事項・備考》

- ・ 高度腹水等、内服困難症例で選択を考慮
- ・ 制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてday2～DEX4-8mg/day 2日間考慮（day1～ORA5mg/day 5日間考慮）
- ・ ゾルベツキシマブ：2時間以上かけて6時間以内に投与終了（院内規定あり）
- ・ ゾルベツキシマブ：インフュージョンリアクション対策としてボラミン注5mg前投与
- ・ 原則入院化学療法で投与